



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

抗グリピカン3モノクローナル抗体(AT用)

(動物種：マウス)

包装： 50テスト(6.5mL)

Code： AT1802-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。

■**特異性および抗原分布**：ヒトグリピカン3(Glypican-3：GPC3)と特異的に反応する。グリコシルフォスファチジルイノシトール(GPI)アンカーにより細胞膜に結合している約60kDaの糖タンパク質である。細胞の細胞質(発現量により弱～強染色となる)および細胞膜に反応が見られる。正常では、胎児期の肝細胞にみられるが成人肝細胞では発現はみられない。腫瘍では、肝細胞癌(Hepatocellular carcinoma：HCC)、肝芽腫、メラノーマ、精巣胚細胞性癌、ウィルムス腫瘍等に発現がみられる。特に、肝硬変や形成異常小結節や癌化した肝細胞腺腫(hepatic adenoma：HA)のような限局病変肝よりもHCC組織に高い発現がみられる。肝臓癌の腫瘍マーカーとして有用である。

■**クローン名**：1G12

■**抗体のサブクラス**：IgG1

■**免疫原**：コアタンパクの70アミノ酸

■**製法**：マウスの腹水から得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗グリピカン3モノクローナル抗体(動物種：マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6.5mLを含む。

2. 使用目的

組織・細胞中のグリピカン3抗原の染色。

3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

| プロトコル名 | Dewax | TR | 温度(℃) | ブロッキング | 試薬名 | 第一抗体 反応時間(分) | 第一抗体 反応温度(℃) |
|--------------|-----------|----------|-------|--------|--------------|-----------------|-----------------|
| Glypican3-AT | Dewax2-AT | TRpH9-AT | 103 | Buffer | Glypican3-AT | 20 | 25 |

■参考：組織の固定状況等により、TR-pH9(AT用)(Code：AT1534-1)を用いた熱処理の温度(℃)を「101」(℃)、第一抗体の反応時間(分)を「30」(分)に変更することで良好な染色が得られる場合がある。(裏面参照)

5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

7. 主要文献

- (1) Filmus J., et al : J Clin Invest. 108 : 197-501, 2005
- (2) Yamauchi N, et al : Mod Pathol. 18 : 1591-1598, 2005
- (3) Wang XY, et al : Hum Pathol. 37(11) : 1435-1441, 2006
- (4) Libbrecht L., et al : Am J Surg Pathol. 30(11) : 1405-1411, 2006
- (5) Kandil D., et al : CANCER 111(5) : 316-322, 2007
- (6) Di Tommaso L., et al : HEPATOLOGY 45 : 725-734, 2007
- (7) Caston Wanda M. P., et al : Am J Surg Pathol. 32 : 433-444, 2008
- (8) Zynger DL., et al : Hum Pathol. 39(2) : 224-230, 2008
- (9) Anatelli F., et al : Am J Surg Pathol. 130 : 219-223, 2008
- (10) Shafizadeh N., et al: Mod Pathol. 21(8) : 1011-1018, 2008
- (11) Ligato S., et al: Mod Pathol. 21(5) : 626-631, 2008

■ 研究用としてのみ使用すること。

■ 参考 : TR-pH9(AT 用) (Code : AT1534-1)を用いた熱処理の温度(°C)を「101」(°C)、第一抗体の反応時間(分)を「30」(分)に変更する場合(おもて面の ■ 参考 参照)、以下に設定してください。

《タイプ : HRP Heat》

| プロトコル名 | Dewax | TR | 温度(°C) | ブロッキング | 試薬名 | 第一抗体 反応時間(分) | 第一抗体 反応温度 (°C) |
|--------------|-----------|----------|--------|--------|--------------|-----------------|-------------------|
| Glypican3-AT | Dewax2-AT | TRpH9-AT | 101 | Buffer | Glypican3-AT | 30 | 25 |